

# ろうさい ニュース

令和4年

3月号

第451号

当院に患者さんをご紹介くださっている先生方には、感謝申し上げます。地域の皆様からの信頼に応え続けるために「アットホームなハイクラスの病院」を理念に取り組んでいます。

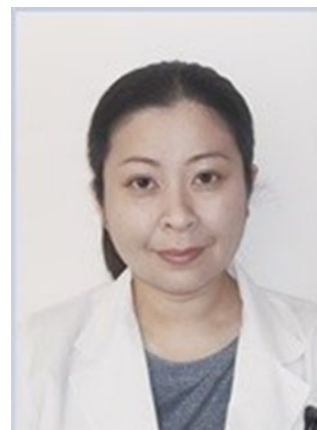


## 診療科の紹介

形成外科部長 福原 定子

### 耳を作る

—形成外科 plastic surgery の歴史は古く、紀元前6～7世紀にはインドで額の皮膚を利用して鼻を作るいわゆる造鼻術が報告されていました。そのころは罪人の処刑法の一つとして鼻切りの刑があったため、その修復のための造鼻術でありました。形成外科は欠損を修復するために生まれてきたものであり、今日では先天性・後天性変形はもちろん、醜い形を美しくするところまでその範囲を広げています。形成外科は、形の異常を治すことによって、患者の心理的歪みを改善し、心身ともに正常にして社会復帰を行わせようとするところに重きをおいています。—



そう、先天異常にせよ、外傷もしくは悪性腫瘍切除後などの組織欠損にせよ、失われた形態を修復する、ということが、われわれ形成外科医の仕事なのです。

先日、コロナ禍の中、はるばる東京へ、小耳症の治療のためのトレーニングコースを受けに行っていました。小耳症とは、耳介の一部または全部が欠損する耳介の先天性異常です。私が参加してきたのは小児肋軟骨実態模型を用いた小耳症フレームワーク構築プラクティス（日本頭蓋顎顔面外科学会で行われる学術講習会）です。現在行われている自家組織を用いる手術のほとんどは、自家肋軟骨でフレームワークを作成するものであり、治療のために、患者さんの肋軟骨を採取し、耳の軟骨の形に肋軟骨を細工してしかるべき場所に移植する、という治療法です。肋軟骨は通常、第6、7、8肋軟骨を使用しますが、貴重な自家組織なので、本番で成功できるよう、小耳症にたずさわってきた先人たちのノウハウを学び、疑似模型を使用して自分でフレームワークの作成ができるように練習するのです。

学術講習会の目的は、①小耳症治療にあたる心構えと基礎知識を得る、②耳介の三次元的featureを理解し、美しい耳介を彫刻できるようになる、③小児肋軟骨の実寸大模型から、美しいフレームワークの構築ができるようになる。

参加者は、これまでの小耳症の手術の歴史について簡単な講義を受けた後、まず、耳のバランスを理解するために耳のデッサンをさせられます。水彩画には水彩画の描き方、風景画には風景画の描き方があるように、やはり、耳のデッサンにも、耳のバランスをもとにした描き方というものがあるものです。

次に、彫刻刀でジャガイモを耳の形に削られます。どれだけ、シミュレーションの技術が発達して、人工的に立体的な3D模型が作れるようになっても、手術中に肋軟骨を加工するのは術者です。三次元の構造を、結局は自分の頭の中にそれを落とし込んで、自分の手で手術の時にそれを作れるようにならなければなりません。この講習会は、実際に手を動かす実技に重きをおいている。耳には細かい凹凸の一つ一つに名前がついているのです。手術するなら、その名前のついた一つ一つの立体構造を覚えてすみやかに肋軟骨を加工できるようになる。手術室でモタモタしている暇はありませんから。

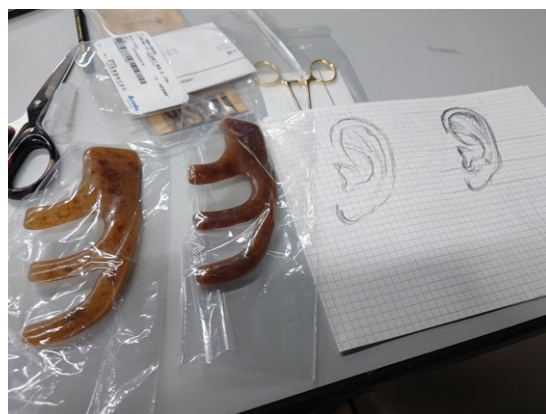
写真は私がジャガイモに彫刻した耳です。

右にあるのは先生が作ってくださったテンプレートです。これをもとに、削る。このテンプレートは参加者に配られたものですが、拡大、縮小コピーして患者さんの耳の大きさに合わせて、実際の手術の現場で使用することもできます。ちなみに、テンプレートから実際の三次元構造、への変換は、やはり術者の頭の中でやらねばなりません。それでも、まったくゼロから耳を作れ、と言われるのと違ってテンプレートを参考に耳を作成した方が良い耳が作れるに違いありません。



ジャガイモの次は、小児肋軟骨実寸大模型から耳を削りだす。写真は、小児肋軟骨実寸大模型（樹脂+植物繊維からできている。植物繊維を混ぜてあるのは肋軟骨を削った時の感覚に似せるため、だそうです。）、右に、私のつたないデッサンも見えております。

肋軟骨のどの部分を耳のどの部分に持ってくればうまく形がおさまるか。耳の作り方にも設計図があって、その通りに作って、何とか完成させた、私の作成したフレームワークがこちらの写真です。



このフレームワークに、もしも皮膚を被せたとすれば、耳らしく見えてくる（はず）。実際、本物の耳介軟骨はまた、少し違います。しかし、肋軟骨でフレームワークと作成する場合、これで耳らしくは見えるし、マスクも眼鏡もかけられる耳になる（外耳道や鼓膜については、また別の話。）。こういった疑似模型での練習を重ねること、あと、経験豊富な先生（当院には、前京都大学医学部附属病院形成外科教授の鈴木茂彦先生がおられます）からご指導いただくこと。どちらも、耳を作る手術を行うにあたっては非常に大事なことだと考えています。今回は小耳症のフレームワーク構築について話をさせていただきましたが、基本的に形成外科ではすべての手術をこのような精神で行っております。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

## 着任のごあいさつ

### 初期臨床研修医 土屋 敏裕

始めまして。2月から初期研修医として入職しました土屋敏裕と申します。埼玉県出身です。社会人経験を経て昨年3月に弘前大学を卒業し、地域医療への憧れからそのまま青森県の僻地病院で研修医をしておりました。事情により埼玉に戻ろうとしたところ、予期せぬ偶然が重なって浜松でお世話になることになりました。

浜松に来たのは実は今回が初めてです。

以前、私が尊敬する方から「縁もゆかりもないことはない。何らかのご縁がありそこに行くもの。」と言われたことがあります。浜松にも何かの縁があることを期待しています。地域医療のマインドはそのままに、この地域で暮らす皆様の安心に少しでもお役に立てるよう頑張っまいります。



■浜松ろうさい病院 令和4年3月外来担当医表

令和4年3月1日現在

診療科	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
	(午前)	(午後)	(午前)	(午後)	(午前)	(午後)	(午前)	(午後)	(午前)	(午後)
総合内科	イワモト タツツ 岩本 達治 ヒガシツツ ヒロアキ 東辻 宏明	—	ヒガシツツ ヒロアキ 東辻 宏明	—	イワモト タツツ 岩本 達治 ヒガシツツ ヒロアキ 東辻 宏明	—	イワモト タツツ 岩本 達治 ヒガシツツ ヒロアキ 東辻 宏明	—	イワモト タツツ 岩本 達治 ヒガシツツ ヒロアキ 東辻 宏明	—
腎臓内科 (外来10:00~)	オオタ タカユキ 太田 孝行(非)	—	—	—	田代 傑(非)	—	—	—	—	—
内分泌代謝内科	—	—	ナカムラ トシヒロ 中村 聡宏(非) ※芝船のみ	—	—	—	—	—	—	—
リウマチ・膠原病科	—	—	—	—	—	—	—	ゴトウ ヨシノリ 後藤 吉雄(非)	—	—
精神神経科	—	—	—	—	—	—	—	スギモト ヨウコ 杉本 洋子(非) ※芝船のみ	—	—
呼吸器内科	トヨシマ ミキオ 豊嶋 幹生 ※芝船初診・再診 カミヤ ヨウスケ 神谷 陽輔 ※初診	—	コウダ ケイジ 幸田 敬悟 ※初診・再診	—	サトウ マサキ 佐藤 雅樹(非)	—	トヨシマ ミキオ 豊嶋 幹生 ※芝船初診・再診 コウダ ケイジ 幸田 敬悟 ※初診	—	カミヤ ヨウスケ 神谷 陽輔 ※初診・再診	—
呼吸器外科	—	—	—	—	フナイ カズヒロ 船井 和仁(非) (第2・4週)	—	—	—	—	—
肝臓内科	—	—	—	—	—	—	モリシタ ムネオ 森下 泉自	—	—	—
腫瘍内科	—	—	—	—	ヤマダ ヤスヒサ 山田 康秀	—	—	—	—	—
消化器内科	外来	オオタ コウジ 大田 悠司 マツウラ アイ 松浦 愛	—	タニ シンヤ 谷 伸也(非)	—	スギウラ ケイチ 杉浦 喜一(非)	—	タカノ リョウスケ 高野 亮佑	—	タカノ リョウスケ 高野 亮佑 ナガオ ムネマサ 長尾 崇政
	※カメラは 完全予約制	IBD外来	—	ハナイ ヒロユキ 花井 洋行	—	ハナイ ヒロユキ 花井 洋行	—	ハナイ ヒロユキ 花井 洋行	—	ハナイ ヒロユキ 花井 洋行
	胃カメラ	高野・長尾	—	松浦・長尾	—	大田・高野	—	昭和大(非)	—	松浦・森下
大腸カメラ	—	長尾・谷(非)	—	高野・長尾・小出	—	大田・高野	—	昭和大(非)	—	大田・松浦
循環器内科	ハットリ リウイチ 服部 隆一(非) 交代制 (常勤医)	—	ハットリ リウイチ 服部 隆一(非) 交代制 (常勤医) 高橋 正明(非)	—	カワモト アキラ 河本 章 イマヅカ ミヤコ 今中 雅子(非)	—	シノダ エイジ 篠田 英二	—	ヤマダ ミホ 山田 美保	—
神経内科	—	—	栗田(非)・柳田(非) (交代制)	—	—	—	—	—	—	—
小児科	—	—	非常勤医師 (交代制)	非常勤医師 (交代制)	—	—	—	—	—	—
外科	チラタニ ナオキ 寺谷 直樹 ヒシカワ ケイスケ 豊川 恵介	—	スミダ ヒトシ 隅田 仁 (交代制)	—	チラタニ ナオキ 寺谷 直樹 ナカムラ シュンスケ 中村 俊介	—	イノウエ ハルタカ 井上 立根 (交代制)	—	イノウエ ケンタ 井ノ口 健太 (交代制)	—
乳腺外科	カガノイ シュンイチ 加賀野井純一	—	—	—	カガノイ シュンイチ 加賀野井純一	—	カガノイ シュンイチ 加賀野井純一	—	カガノイ シュンイチ 加賀野井純一	—
整形外科	初診	コウモト マサアキ 河本 正昭 ※芝船のみ タバ ヨシシ 田場 健 チェン シンジー 陳 勁溪	コンドウ シュンヤ 近藤 洵也 ウケタ タケヒロ 舘田 雄大 コウモト マサアキ 河本 正昭	—	イシカワ トモミ 石川 朋美 偶数週 河本 正昭	—	タバ ヨシシ 田場 健 チェン シンジー 陳 勁溪	—	ウケタ タケヒロ 舘田 雄大 コンドウ シュンヤ 近藤 洵也	—
	再診	マキノ アイコ 牧野 愛子	—	—	—	—	—	—	マキノ アイコ 牧野 愛子	—
形成外科	フクハラ サダコ 福原 定子	—	フクハラ サダコ 福原 定子	—	—	サイトウ ススム 斎藤 晋(非) (第2週) ※芝船のみ	フクハラ サダコ 福原 定子	—	フクハラ サダコ 福原 定子 (言語外来) ウタセ ワカ 渡瀬 和香(非)	—
腫瘍外来(形成外科)	—	—	スズキ シゲヒロ 鈴木 茂彦 ※芝船のみ	—	—	—	—	—	—	—
脳神経外科	ウタナベ ヨシヒコ 渡邊 芳彦 マツダ アキヒデ 松田 章秀	—	ウタナベ ヨシヒコ 渡邊 芳彦 マツダ アキヒデ 松田 章秀	—	ウタナベ ヨシヒコ 渡邊 芳彦 マツダ アキヒデ 松田 章秀 (第2・4週)	—	ウタナベ ヨシヒコ 渡邊 芳彦 非常勤医師 (第2・4週)	—	ウタナベ ヨシヒコ 渡邊 芳彦 非常勤医師 (第2・4週)	—
心臓血管外科	シマモト タケシ 島本 健	—	—	—	ニシハラ シュンイチロウ 西澤 純一郎	—	—	—	ニシハラ シュンイチロウ 西澤 純一郎	—
皮膚科	フナイ ナオコ 船井 尚子	フナイ ナオコ 船井 尚子	フナイ ナオコ 船井 尚子	ホンダ テツヤ 本田 哲也(非) (第1週・芝船のみ)	フナイ ナオコ 船井 尚子	—	フナイ ナオコ 船井 尚子	フナイ ナオコ 船井 尚子	フナイ ナオコ 船井 尚子	—
泌尿器科	コボリ コウ 小堀 康 モロイ セイジ 膳井 誠司	—	コボリ コウ 小堀 康 シメズ コウスケ 清水 浩介	—	メグミ ユズル 恵 謙 モロイ セイジ 膳井 誠司	—	メグミ ユズル 恵 謙 シメズ コウスケ 清水 浩介	—	メグミ ユズル 恵 謙	—
婦人科	オザワ ヒデチカ 小澤 英親	—	オザワ ヒデチカ 小澤 英親	—	オザワ ヒデチカ 小澤 英親	—	オザワ ヒデチカ 小澤 英親	—	オザワ ヒデチカ 小澤 英親	—
眼科	スズキ ヒロコ 鈴木 寛子(非)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
耳鼻咽喉科	—	—	タニガキ ユウキ 谷上 由城 (非)	—	—	—	—	キタノ マサユキ 北野 正之 (非)	—	—
放射線科 (診断)	ヤマシタ ショウヘイ 山下 修平									
放射線科 (治療)	—	—	—	—	—	名市大(非)	—	—	—	名市大(非)
リハビリテーション科	スギヤマ ヒロユキ 杉山 宏行	—	スギヤマ ヒロユキ 杉山 宏行	—	杉山 宏行 ※芝船のみ	—	スギヤマ ヒロユキ 杉山 宏行	—	杉山 宏行 (第2週休診)	—

● 青字は医師交替、赤字は診療時間の追加・変更部分になります。● (非)は非常勤医師となります。

■専門外来(特殊外来)

診療科	外来名	診療日	診療時間	備考	診療科	外来名	診療日	診療時間	備考
呼吸器内科	アスベスト外来	月・木曜日	16:30~17:00	予約制	心臓血管外科	静脈瘤外来	月曜日	8:30~11:00	—
リウマチ・膠原病科	リウマチ・膠原病科	木曜日	13:30~17:00	予約制	泌尿器科	尿路結石外来	月・水曜日	13:30~16:00	予約制
循環器内科	ハートメカニクス外来	木曜日	9:00~	予約制	リハビリテーション科	鍼灸器具外来	火曜日	8:30~11:00	予約制
	不整脈外来	金曜日	13:00~	予約制		健康診断部	健康診断部	月~金曜日	8:30~11:00
形成外科	小児形成外来	火曜日	9:00~11:00	—					
	手外科専門外来	第2水曜日	13:00~16:00	予約制					
	言語外来	第2・4金曜日	13:00~17:00	予約制					

独立行政法人 労働者健康安全機構 浜松ろうさい病院 地域医療連携室

受付時間 電話 053-411-0366 fax 053-411-0315

紹介患者の予約受付 月~金 8:15~18:00 土 8:15~12:00

